



photo by Miyashita

実行委員長 1年生
豊丘村人形劇公演
実行委員長 奥村浩実

8月11日に豊丘村人形劇公演が行われました。例年までは実行委員としてお手伝いしていましたが、今年度より突然の実行委員長就任、右も左もわからないままあつという間に公演当日です。でも経験豊富な実行委員と公民館の方々そして各学校・保育園役員、中学生ボランティア、信金S

豊丘村人形劇公演 盛りだくさんの趣向に夢中



今年の演目は、人形劇団あつからかんさんによる「ちよきちよきバーバー」「めつきらもつきらどおんどん」の二本立てでした。自分自身も初めて見る演目で興

当に感謝です。公演当日も挨拶する時間が近づいてきて緊張している、「いつも通りにやればいいんですよ」と、中学生ボランティアに励まされ、気持ちを落ち着かせることができました。大島さんありがとう。



YMS豊丘支部の協力のおかげで無事に開催することができました。中学生ボランティアにお願いしたのは、去年に続き2回目の参加で、こういった活動に積極的に協力してくれる行動に本

味津々。いざ見てみると人形劇を操りながら紙を切ったり、縄跳びをしたり、客席まで人形が舞い渡るなど、楽しく笑える趣向が盛りだくさんで、子どもたちも真剣な顔で人形劇に入り込み、笑い話しかけ、もう夢中の様子でした。人形劇公演を見に来てくれている方々のそんな様子を見ると今年も人形劇公演ができて本当に良かったと思う瞬間でした。

公演とは別ですが、例年公演終了後に劇団の方たちとお弁当を食べます。そのときに公演中の裏話や演目のできるまでなどの話を聞けるのも楽しいです。

来年は実行委員長2年目、今回よりもっと見に来てくれた人が楽しんでもらえるように頑張りたいです。お楽しみに！一緒に人形劇実行委員をやりたい方大募集中です。興味のある方は公民館までご連絡ください。



●大写真 第19回武田信玄狼煙リレー 令和8年8月29日(土)

朝の強い雨で開催が心配されたものの、開始時には雨も上がり、無事に狼煙が上がりました。会場には見学者の姿もあり、史学会の講義に耳を傾けたり、中学生ボランティア企画の狼煙クイズに挑戦したりと、歴史ロマンを満喫していました。



また、今年も昨年同様に、抽選会や宝投げをし、来場者の皆様に、商品を持って帰って楽しんでいただけたと思っています。今回のお祭りの経験と反省を今後に生かし、これからも地域のつながりを大切にしていきたいと思ひます。

地域の絆、ここにあり

伴野区夏の夜祭りを終えて

第4分館長 吉川 剛

8月8日に、伴野区の夏祭りを終え、実行委員として多くのことを学びました。

お盆前の忙しい時期で、準備や調整は思っていた以上に大変でしたが、地域の皆様の協力のおかげで無事に開催することができました。特に当日は天候が心配され、雨天決行の判断にはたいへん悩みました。来場される皆様の安全と、楽しみにしてください。あつからかんさん、両方を考えながら、最後まで慎重に協議したことが強く心に残っています。雨が止まない状況で、商工会の皆様、工業団地の皆様、区の役員の皆様、公民館員の皆様、そして芸能演者の皆様には多大なるご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。地域の皆様の多くの方の力が合わさってこそ、夏祭りは成り立つのだと改めて感じました。

第4分館

ゆめスタ

小中学生を対象に、7月27日～30日に行われたゆめスタ（ゆめあて会場）では、延べ13人のボランティアが参加。準備や片付け、受付や勉強を教える役割を担い、運営を支えました。

ゆめスタの魅力

豊丘中3年 錫木 颯士

私はゆめスタのボランティアに参加しました。私は去年のゆめスタにも参加していたのでゆめスタのボランティアの魅力をもっと紹介します。

1つ目は涼しい環境で勉強ができることです。夏休み中に家で集中して勉強ができない人や、ゆめスタに参加している人はこのボランティアに参加してみるのもいいと思います。



2つ目はアウトプットやインプットができます。人に教えることで自分も学ぶことができると思います。ぜひこのボランティアに参加してみてください。

ゆめスタの魅力

豊丘中3年 熊崎 尊

私は、ゆめスタのボランティアに行き、2つの魅力を感じました。

番組制作に参加して

豊丘中1年 清水 瞭太

僕は、SDGsに関する番組制作に参加して、SDGsの目標一つ一つに込められた思いや願いが沢山あることを知れました。最初は、友だちに誘われて気になるからやってみようという気持ちで参加しましたが、番組制作をやってみたら、とても面白くてとても



良い経験になりました。収録当日は、事前に最終確認をして収録にうつりました。収録する順番は、僕が一番最初で、ものすごく緊張しながら収録にのぞみました。収録は、自分ではかなりで

親子の読書ひろばのボランティアに参加して

豊丘中2年 安田 楓花

私が行っている親子の読書ひろばでは親子を中心に様々なジャンルの本の読み聞かせや紙芝居などを行っています。子どもたちが飽きずに楽しめるように手遊びで遊んだり歌を歌ったりもしています。また、絨毯を敷き子どもたちがリラックス

スできるように工夫されています。私がこのボランティアに参加するのは3回目です。指導者の皆さんにもたちが聞き取りやすいような大きな声でゆっくり声を出すように心がけています。笑顔になり楽しんでいる姿を見ると、嬉しく感じます。読書をする事で新しい物語と出会い、想像力も広が



“尊厳ある社会”へ 介護を支える皆さんと考える

Vol. 4

Dignity
尊厳



社会福祉法人 林の杜
介護老人保健施設
はやしの杜
ユニットリーダー
長谷部 陽子 さん
(後編)

介護の一端を知り・考えるきっかけを目指す連載の4回目。前回(8月号)に続く長谷部さんインタビューの後編をご紹介します。

特養待ち利用者のご家族が職員の関わり方を評価、大きな自信に

最近とくに嬉しかったエピソード。特養待ちの利用者家族の方から「特養に空きが出たので別の施設へ移りたい」とのお話があり、遠方に住むそのご家族が同施設を見学したあと、はやしの杜を訪問。久しぶりに目にする親御さんの明るい表情と職員との親しげなやり取りを見て翻意。「やはりはやしの杜が良い」と。仕事柄つらい思いをすることも無くもないながら、時にはお礼のつもりで給をくれようとする利用者もいたりして、人とのささやかながりの大切さを紡ぐ日々です。

仕事と家庭で二重の介護を経験、介護する側の休息も必要と実感

仕事として日勤から夜勤まで多様な形態で介護に携わるなか、家庭

でも一昨年他界した実父に4年ほど前から認知症の症状が現れ、日夜介護と向き合う日々を経験した長谷部さん。父が次第に自力で歩くことも食事を摂ることも難しくなり、といて自身は仕事でずっと付き添うわけにもいかずに苦悶。要介護5と認定されたのを機に父は他の介護施設へ入所。その後は安心して仕事を続けられたと振り返り、仕事と介護の両立に追われる人の休息を支援する「レスパイト(一休み)ケア」の大事さを実感したといいます。

ご利用者やご家族に安心なサービス提供を

「待遇面を含め、介護サービスに携わる人たちが安心して仕事ができる環境・制度を整えていただけると有り難い」。そうならば、若い世代の介護の担い手に少しでも魅力を感じてもらえ、介護人材の離職も減らせるのでは。「ご利用者やそのご家族に安心してサービスを使っていたきたいんです」。併せて、「私たち職員も誇りを持って楽しく仕事に臨み、ご利用者との細やかな関わり合いを充実できれば良いなと」。(池野隆)



こちら資料館 268

大矢沢の窯跡について

今回県宝に指定された12点の土器は、何処で作られたものだろうか？「伊那」令和8年7月号の口絵解説「長野県宝」中手田遺跡出土品「市澤英利氏」によると、「獣脚付三足短頸壺」は東海地方で生産されたものだが、

それ以外の11点は、地元(飯伊地域)の窯で焼かれたものであるという▼当時(奈良中頃～平安中頃)、須恵器を焼いた窯跡は、竜丘や伊賀良など十数カ所で確認されているが、その中に豊丘村の大矢沢の窯跡が含まれていることに注目したい▼大矢沢は河野中平地区の南端、芦部川の浸食した谷深い山中にある。昭和23年、村人が、焼け石に溶けて付着した須恵器のかげらを偶然発見したことがきっかけとなり、昭和27年、中央の専門家の指導のもと本格的な発掘調査が行われた。発掘は



大矢沢須恵器窯跡

計画段階から当時の河野村公民館が中心となつて進められ、村民は勿論、郡の諸団体や関係機関および研究者の協力を得て行われた。戦後間もないこの時期、村を挙げて学術調査を推進した事は特筆に値する画期的な出来事であった▼発掘された窯跡は半地下式で長さ8.8m、幅約1m、斜面を利用した蒲鉾型で下部に焚き口が設けられていた(写真)▼窯跡から出土した須恵器は、坏・蓋・壺・甕・鉢・盤・硯等であるが、大きく変形したり、破損

資料館主任 唐澤武彦

図書館だより 9月号

< 移動図書のご案内 >

10月の移動図書

2日(金)壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後8時～9時

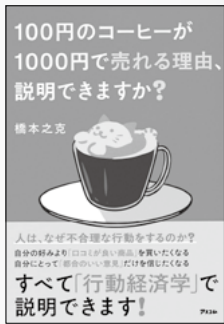
< 本の紹介 >

『100円のコーヒーが1000円で売れる理由、説明できますか?』

橋本之克(著) / 株式会社アスコム

私たちの生活に欠かせない買い物。高くても購入してしまうのは、売り手側の戦略によるものかもしれません。「どこで、誰から、どのように売られているか」で、人は全く異なる金額を支払ってしまうのはなぜでしょうか。

売り手側は、私たち消費者にお金を使ってもらうために、行動経済学の理論を最大限活用しています。たとえば、高い価格を最初に見ることでその後の値段が特別に感じられなくなる「アンカリング効果」など多岐にわたります。買い手側の心理的な弱点を知ること、無駄な買い物や不幸な買い物をなくすきっかけになることでしょう。物価高で悩ましい昨今、ぜひこの本を参考にしてみたいはいかがでしょうか。



図書館 竹村 里香

今月のほんだな



わたしの気になるあの子

著者：朝比奈蓉子 作／水元さきの 絵
出版社：ポプラ社

贈りびと 豊丘南小学校6年

図書委員長 壬生 晴菜

「わたしの気になるあの子」という本は、女の子らしさをおしつけるおじいちゃんとそれに納得できない小6の瑠美奈、ある日

突然坊主で学校に登校して来た転校生の詩音のお話です。

突然坊主にして、周りからかわられるようになった詩音ですが、1人で平気そうにしています。瑠美奈は、そんな詩音が気に入り始めます。でも、詩音が髪型を変えた背景には、お姉ちゃんを助けたいという理由がありました。お姉ちゃんは校則にしばられ苦しんでいたのです。そんなある日、詩音は1つの看板を見つけました。「もっと自由に。もっと多様に」これを見てからはどんどん気持ちが変化していきます。そして、この看板は、瑠美奈も見つけていました。

2人が、ぶつかり合いながらおたがいの気持ちを理解していくところが感動するおすすめの1冊です。

つどう！つながる！仲間たち

はじめの一步～生きる力は食べる力～

夢の食育

代表 出崎千穂子

夢の食育は、子どもから大人まで楽しく学ぶ食育活動です。旬の食材を使った味噌汁、本物の出汁の味を体験し、体を作る食の大切さを学んでいます。自分で料理することで、できたという喜びが自信に繋がり、食への関心も深まります。

毎月テーマを決めて、健康な体作りや食習慣について楽しく学び、地域の皆さんと交流も大切にしながら活動を続けています。



公民館登録グループ・体育協会加盟団体

楽しくバスケを！

とよおか花バスケ

代表 久保田泰司

現在、年齢層が20代から50代までのバスケットボールのサークルです。普段は村民体育館や村内の公園で、楽しくバスケをやっています。学生の頃にバスケをやっていたが、また久しぶりにバスケをやりたい人や、興味はあってもなかなか機会がなかった人たちが公園で知り合ってできたサークルです。大会などに出るよりも、楽しく体



力作りも兼ねて、和気あいあいとバスケットボールをするのがモットーです。不定期ですが主に木曜日の夜に村民体育館で活動しています。初心者の方や経験者だけどブランクがあるので軽くまたバスケを楽しみたい方など、年齢問わず大歓迎です！

段丘俳句会

蝦夷菊の色とりどりに供華となす

片桐洋子

酷暑日も聞き慣れし日々雲真白

森田恵子

喜雨来たり皺の手合せ土に生き

木下真水

願ひ事多く七夕竹しなふ

松岡照子

向日葵と三十余年世に立てり

宮下純子

手甲に肌を隠せる炎天下

丸山時子

黒スイカ地球切ること力込め

林恵美子

沙羅一花散りて浄土に旅立ちぬ

矢島千勢子

唐黍の乳歯のごとの粒齧る

池田美和

酷暑日や八十路を託すワゴンカー

吉川明子

ポスト迄連れ立ち渡る赤とんぼ

細井恵子

天竜川の脇に優しき合歡の花

石田美佐子

竹の皮散る段丘の炸裂す

北原昭子

とよおか短歌会

燕の二拠点暮しは十五年
今年も十五羽南へ還る

筒井恵子

音楽会「鎌倉殿の十三人」
力を合わせた合奏だった

小五 筒井嵐大

何処だろうワールドカップのモロッコは
地球儀廻す蛸採れる国

松尾ヒサコ

初なりの曲ったキュウリお供えす
青き香りと光るイボイボ

福澤貴美恵

忘れ得ぬパンデミックの春独り
都会を去りて伊那谷に移る

福澤郁文

刈られたる後の叢あちこちに
ねじ花数多凛として咲く

大原真由美

今日も在る吾のいのちの健やかに
ひと日一日を段として

毛涯百合子

「五月蠅」と書けば若きら首傾しぐ
ハエ取りリボン識らぬ世代は

福澤亀人

段丘

9月に入り稔りの時期を迎えた稲田は、徐々に黄金色に染まり始める。一年を通して一番輝く季節になってきた。田の畔には怪しげな真っ赤に染まった花『彼岸花』が顔を出しはじめる。秋の彼岸の頃に咲くことから愛称としてこのように呼ばれる親しまれるが、古来より本当の名前は曼珠沙華(マンジュシャゲ)と言うらしい。この名称の方が妖艶に感じてしまう。歌手の山口百恵が「マンジュシャケ恋する女は」と熱唱する姿だけが印象にありこのあとは詳しくないが、この花の咲く時期についてこのフレーズだけ口ずさんでしまう。

(宮下正弘)



文字は、昭和30年7月発刊の第1号から、題字は同年9月発刊の第2号から、令和8年3月発刊の第781号まで。



ヨツボシトンボ「プラエヌビラ型」 (トンボ科)



今月は以前に紹介したヨツボシトンボ（No. 104）のプラエヌビラ型を紹介します。が、まず、種そのものの説明。学名は最後に年号が入ります。「1758年」とあり、268年前です。古い（昔）ですね。ところが、別の図鑑では「1957年」とあります。研究が進んで亜種として認定されたからです。1833年にニューマンによつ

て発見（採集）された個体は亜種には認定されていなかったので、型です。さて、飯田下伊那で最初に確認されたのは1976年でした。ちようど50年になる今年、7月20日、松川町元大島で、そのプラエヌビラ型を採集しました。手持ちの6冊の図鑑すべてに「まれに」とあります。

山田 拓

—— これまでの歩み

高校生までずっと野球をやってきた。高校生の時は、寮生活をしながら甲子園を目指していた。社会人になるまでは家業を継ぐつもりはなかったが、他の仕事をしてみると、ありがたみや社会を支える大切な仕事ということに気づき、やろうと思った。誇りを持ってこの仕事をやっている。

—— 情熱を注いでいること

現在、豊丘少年野球クラブの監督をしている。少年野球は、20歳頃に2年程コーチを務めていた。結婚を機に一度離れていたが、自分の子どもが始めたのをきっかけに再びコーチとなり、3年前に監督となった。同学年のコーチ3人と一緒に、楽しく監督をやらせてもらっている。野球人口が少なくなっているのも、子どもたちにもっと野球をやってもらいたいと思い、保育園に出向いての野球教室も計画している。

—— 豊丘村での暮らしと地域活動

この地区に住み始めたことが縁で、地域のナイターソフトボールのチーム（伴野クラブ）へ加入した。伴野神社獅子舞保存会へも入っており、このような地域活動をする中で、地域の人たちと顔見知りになり、住みやすくなっていると感じている。若い人にももっと入ってほしい。仕事の関係で、商工会青年部やしんきん SYMS に

あの人 この人



も入っており、輪が広がっている。

—— 豊丘村への想い（この村の好きなところ）

人が温かい。どこに行っても、挨拶したり、声をかけてくれたり。生活しやすい村だと思う。

—— これからの夢

少年野球クラブの教え子が、成長して甲子園に行ったり、プロ野球選手になったり、野球を辞めたとしても各方面で活躍してくれたり、そんな姿が楽しみ。ずっと教え子なので応援していきたい。

村からバスを出してもらって、甲子園や球場へ大勢で応援に行ければ最高。（原明美）

「仕事も野球も全力投球」

松下 拓未さん（下市場）
1988年生まれ 38歳
豊丘村出身

小学生の頃から野球一筋。祖父がはじめた仕事（廃棄物収集・運搬業）を継ぐ傍ら、現在は豊丘少年野球クラブの監督も務める。



ぎらり☆豊丘村のこどもたち

頼もしい！ 中学生ボランティア

夏休みの中学生ボランティアの活躍をお届け



ジュニア防災学
「受付もボランティアが担当」



豊丘村人形劇公演
「人形劇団へお礼をお渡し」



親子の読書ひろば
「読み聞かせに釘付け」



生活リズム改善週間番組出演
「生活リズムの大切さをPR」



わが家のSDGs番組制作
「ドキドキの番組出演」



武田信玄
狼煙リレー
「狼煙にまつわるクイズを出題」

豊丘村の「これ」知ってる？

本年6月にイエスの塔が完成して話題となっている、スペイン・バルセロナの「サグラダ・ファミリア」。大聖堂の周囲のステンドグラスも注目を集めました。豊丘村にもこんな素敵なステンドグラスがある建物があります。ここはどこでしょう？



【答え】 佐原区民会館

【解説】 旧佐原分校を平成11年に建て替えて使用されている現在の佐原区民会館。玄関ホールに設置された、緑や青を基調とした爽やかな色のステンドグラスが、豊かな表情を醸し出しています。豊丘村の『サハラダ・ファミリア (!?)』で、身近にヨーロッパの風を感じてみてください。

